

中央放射線部

中央放射線部では、血管造影やレントゲン、CT、MRI、RIなどの検査を行っていますが、これらの画像を3D処理することによって手術を支援する画像を提供しています。脳神経外科に向けた画像をご紹介します。

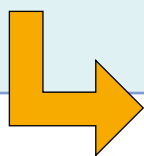
CT 検査と MRI 検査の違い

CT・・・空間分解能に優れている。

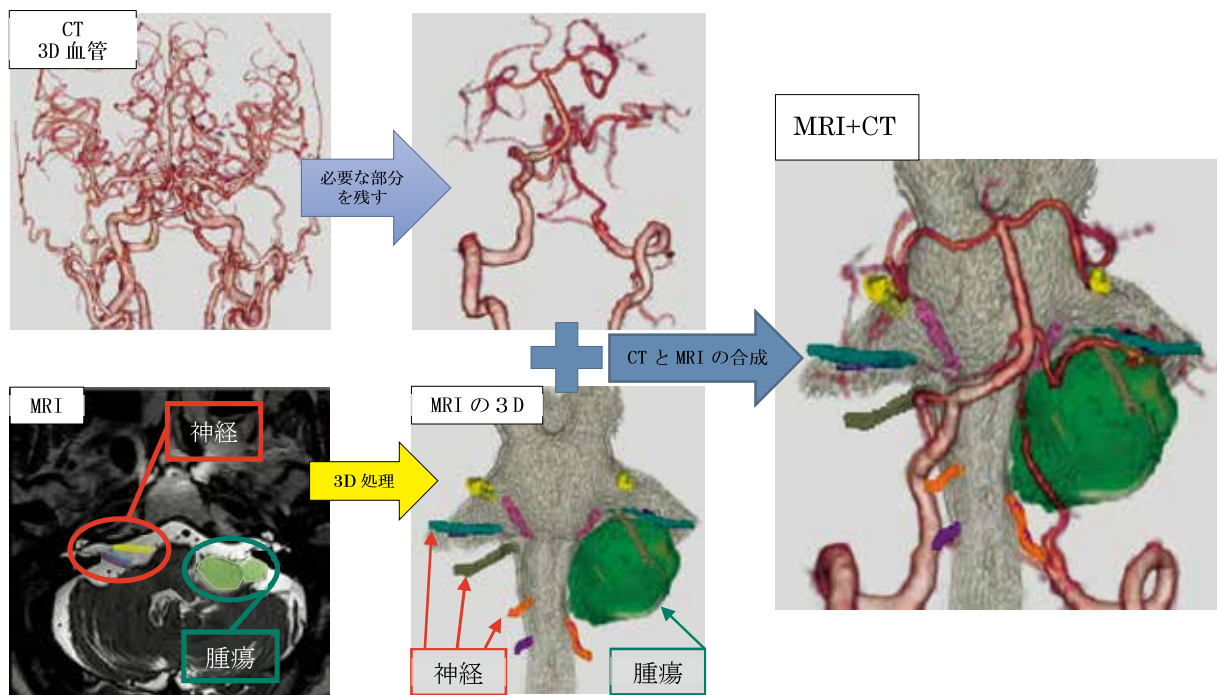
3D 立体画像などの撮影終了後の構成も可能。

MRI・・・コントラスト分解能に優れる。

脂肪・筋肉・腱・神経などが明瞭に観察できる。



それぞれの検査の強みを活かして画像合成して作成します。



CT画像とMRI画像の利点を重ねる事により
正確に血管・神経・腫瘍の位置関係を把握することが可能になり、
手術の支援になる画像を提供しています。

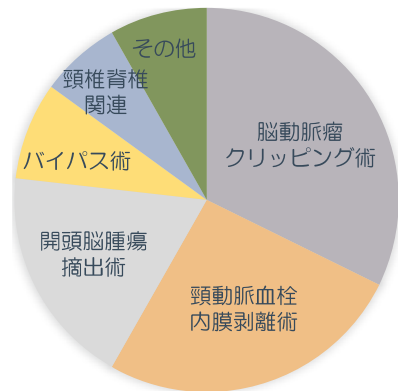
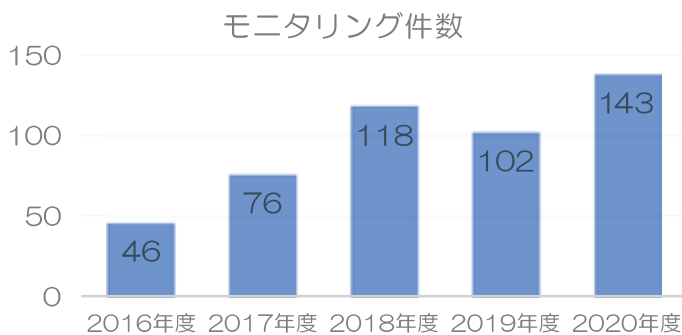
臨床工学技術部



術中神経モニタリング



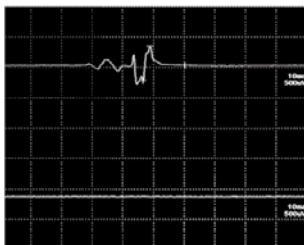
近年、脳神経外科などの手術では術中神経モニタリングが広く行われています。術中神経モニタリングは、頭や手足に電極をつけて電気刺激を行い、脳波や筋電図などの反応を確認します。手術中の虚血による脳障害の予防や、神経の損傷による術後麻痺の予防、神経の正確な場所や走行を把握し機能を温存することなどを目的としています。当センターでは臨床工学技士が担当しています。



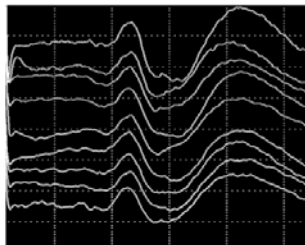
モニタリングの種類は様々あり、病変がどこにあるかや手術方法などで決められ、それぞれの脳波や筋電図の変化を確認し、脳神経機能を把握します。



- 運動機能(運動誘発電位(MEP))
- 感覚機能(体性感覚誘発電位(SEP))
- 視神経(視覚誘発電位(VEP))
- 聴神経(聴性脳幹反応(ABRI))
- 脳血流(近赤外線脳酸素モニタ(NIRS))
- その他…



実際のMEP波形



実際のSEP波形

医師、看護師、臨床工学技士など多職種が連携して、より安全な治療のために精度の高いモニタリングを目指しています。



中央内視鏡部

医師

当院は日本内視鏡学会の指導施設に認定されています。

内視鏡検査は12名の内視鏡医で行っており、うち3名が日本消化器内視鏡学会指導医・3名が専門医の資格を有しています。正確な診断・的確な治療を安全・安心に行えるように日々努めています。



看護師

安全で苦痛の少ない検査を目指しています。

痛み止めや眠る薬を使用した内視鏡検査、低反発マットやリクライニングベッドの使用、ヒーリング音楽など患者様にとって安全・安楽な検査を提供しています。手指衛生はもちろんのこと、患者様ごとの清掃や換気など感染対策にも力を入れています。

また、内視鏡技師が常駐しています。治療に対する不安や相談などいつでもお気軽にお声がけください。



臨床工学 技士

内視鏡の洗浄・消毒に力を入れています。

カメラ使用後のベッドサイド洗浄、専用ブラシやスポンジによる用手洗浄、自動洗浄機による洗浄・消毒・すすぎなど「3種類の洗浄」と「アセサイド(酢酸)による高水準消毒」をおこない、安心・安全に検査を受けてもらえる状態へリプロセス(再生処理)しています。



中央手術部

患者さんが手術を安全に、そして安心して受けることができるよう
日々業務を行なっています。

手術室は5部屋あり、年間約 2500 件の手術を行っています。

夜間や休日も緊急手術に対応できるように備え、地域医療を支えています。



～ 低 侵 襲 手 術 の 様 子 ～



消化器外科では年間500件近くの手術を行っていますが、そのうちの60%は低侵襲手術を行っています。低侵襲手術の実施割合は奈良県内でもトップクラスです。

～ 術 前 外 来 の 様 子 ～



主に全身麻酔で手術を受けられる患者さんに対して、看護師による術前外来を実施しています。

術前外来では、少しでも安心して手術を受けていただけるよう、患者さんやご家族からお話を伺っています。

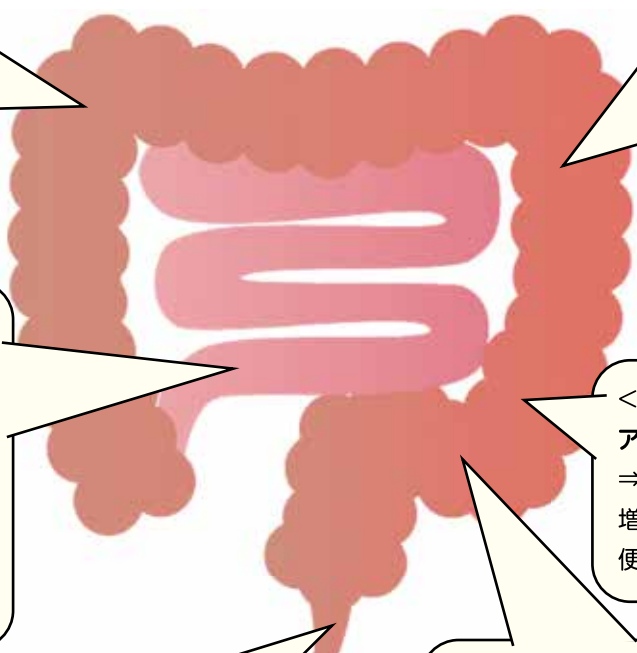
手術室看護師は、専門的な知識、技術と倫理観をもった質の高い看護を提供するため
これからも、力をあわせて頑張っていきます。

薬剤部



便秘の治療薬

便秘とは、3日以上排便がなかったり、毎日排便があっても残便感がある状態をいいます。便秘の原因は幅広く、原因が異なれば治療法も違うため、適切な対処、治療を行うことが大切です。下剤を使用する際は、自分の判断で始めたりやめたりせず、まずは医師に相談しましょう。



<内用薬>
酸化マグネシウム、
マグミット
⇒腸管内容物を軟化し、
腸管を刺激

<内用薬>
センノシド(プルゼニ
ド)、アジャスト A、ヨ
ーデル S、アローゼ
ン、ピコスルファート
ナトリウム(ラキソベ
ロン)
⇒大腸を刺激する

<内用薬>
グーフイス
⇒回腸で胆汁酸の再
吸収を抑制し、大腸
に流入する胆汁酸の
量を増加させ、水分
分泌と大腸運動の促
進作用で自然な排便
を促す

<内用薬>
アミティーザ、リンゼス
⇒腸管内への腸液の分泌を
増加させ便を柔軟化し、排
便を促す

<外用薬>
テレミンソフト坐薬
⇒結腸・直腸に作用して蠕動運動を促進し、排便反射を刺激
新レシカルボン坐剤
⇒直腸内で炭酸ガスを発生し、蠕動運動を促進することで
生理的な排便を促す

<内用薬>
カルメロースナトリウム
⇒腸管内で水分を吸収して膨張することにより自然に近い排便を促す

※一部抜粋した便秘薬について説明しています。



便秘は、生活習慣の改善が必要です。水分を多めにとることは、便を軟らかくし排便しやすくします。便意がある時は我慢しないでトイレに行きましょう。また、規則正しく三度の食事をとり、食物繊維の多い食事を心がけることも大切です。運動は、腸の動きを活発にするため、支障がない限り行いましょう。

栄養管理部

適塩レシピ

今回は「適塩」のレシピをご紹介します。塩分制限の必要な場合は1日6g未満、1食あたりの塩分量は2g程度を目安にしましょう。

海老のオイマヨ炒め

材料(1人前)

・海老	5尾
・酒	6g(小さじ1)
・片栗粉	3g(小さじ1)
・しめじ	30g
・玉葱	30g
・チンゲン菜	15g
・オイスターソース	5g(小さじ1弱)
・マヨネーズ	4g(小さじ1)
・サラダ油	6g(大さじ1/2)

オイスターソースとマヨネーズは相性抜群!海老の旨味でおいしさUP

作り方

- ①海老は殻と背わたを取って洗い、酒と片栗粉をかけてなじませる。
- ②しめじは小房に分け、玉葱はくし切り、チンゲン菜は一口大に切る。
- ③熱したフライパンに油をひき、①の海老を炒め、色が変わったら②の野菜を入れ炒める。
- ④オイスターソースとマヨネーズを加えて全体に混ぜ合わせる。



塩分
約 1.2g



塩分
約 0.4g

ほうれん草のくるみ和え

材料(1人前)

・ほうれん草	60g	・くるみ	6g	・濃口醤油	3g
・みりん	4g	・上白糖	2g		

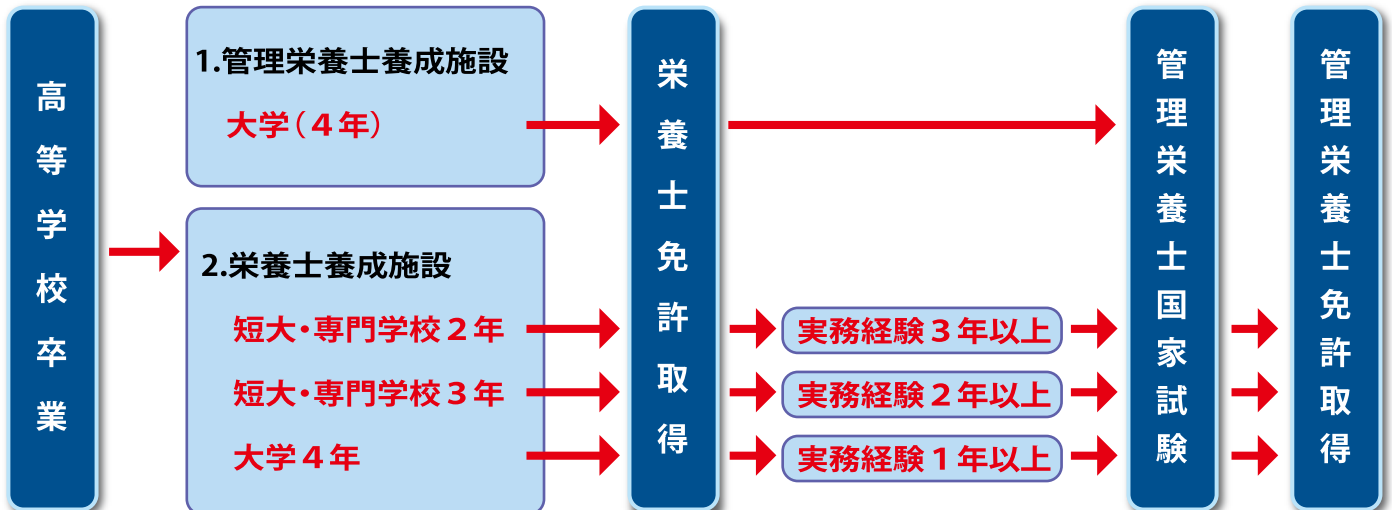
作り方

- ①ほうれん草は食べやすい大きさに切り茹でる。
- ②くるみは袋に入れて麺棒などで細かく砕き、フライパンで、から煎りする。
- ③①の水気をしぼり、くるみ、濃口醤油、みりん、上白糖を入れて和える。

くるみは、抗酸化作用のあるポリフェノールやメラトニンを多く含みます

ファミリー特集 病院で働こう!!

第5回 管理栄養士になるには



管理栄養士ってどんな仕事をしているの?

管理栄養士は入院患者さんや通院中の患者さん一人ひとりの病状に合わせた栄養管理や栄養指導を行い、病状の回復をサポートしています。医師・看護師や各種の専門職スタッフと連携して栄養サポートチームを設けて外科手術後や低栄養の患者さんに対して高度な栄養管理も行っています。また、病状に応じた食事の提供や献立作成もしています。

働いている管理栄養士の声!

以前は療養型病院に約1年間勤務しておりました。急性期病院である当センターでは扱う病院食の種類や数も大きく変わり、戸惑うこともありましたが、周りの先輩栄養士の方々に手厚く教えて貰いながら充実した毎日を過ごしています。

管理栄養士2年目



入院と外来の栄養指導を行っており、患者さんに合った食事療法を提案するように心掛けています。他には病院食の献立作成を行っています。減塩など病状に合わせた食事となっていますが、入院患者さんから美味しいという声を聞くと嬉しいです。また栄養不良や食欲不振がある方の食事内容を工夫し、栄養改善に繋げています。管理栄養士として栄養指導や病院の食事を通し、病状の改善や悪化を防ぐ助けになれば良いと思っています。

管理栄養士7年目

病気の予防や治療には、日々の食事からバランス良く栄養を摂ることが大切です。新型コロナウイルスの感染予防においても低栄養や過剰栄養等の栄養不良を改善するために栄養管理が必要になります。私達は栄養と食のプロフェッショナルとして栄養バランスのとれた食支援をします。皆さんも管理栄養士を目指してみませんか?

栄養管理部 係長 村中 照美